

建設関係は3社掲載

M & Aの事例を紹介

東北経産局

東北経済産業局は、東北でM&A(第三者承継)に取り組み企業9社の事例をホームページに掲載している。建設に関係する企業は3社が掲載されており、各社のM&Aに踏み出した経緯や効果などを紹介している。

東北経産局では、地域の中小企業が存続・発展して

いく上での有効な選択肢としてM&Aを認識してもらうために、リーディング企業の取り組み事例をまとめた。各社のM&Aの目的と効果、資金調達のポイント、今後の展望など、各社から提供を受けた情報を掲載。建設に関係する企業では▽田名部組(青森県八戸市)▽弘栄設備工業(山形

市)▽ヤマコン(同)の計3社が紹介されている。田名部組はM&Aの目的として、スケールメリットと多角化を挙げている。本業である土木・建設業に加えて、M&Aによって太陽

光発電などの再生可能エネルギー事業や、介護事業の展開につながったことなどを紹介している。

設備工業を手掛ける弘栄設備工業は、技能者の高齢化と不足といった現状や、東日本大震災の復興と東京五輪縮小による市場の変化に対応するため、M&

Aに乗り出した。現在は11社12業態のグループを形成し、給排水洗浄などのメンテナンスの受注幅が拡大したといった効果が示されている。

コンクリート圧送業のヤマコンは、同業者とのM&Aによって、強い事業基盤の構築と成長を図った。即

戦力となる人材の確保によつて生産性向上が見込めるほか、優秀な人材が得られた結果、技術の伝承も担保されたという。M&Aの方針として、合併に際して社員の定着に最大限に留意したことなどが紹介されている。